

「南山城古代史研究セミナー」第1回セミナーの概要について

9月14日(土)に開催しました第1回セミナーの概要についてご報告します。

- 1 講師 京都府立山城郷土資料館 資料課長 細川 康晴 氏
- 2 参加者 8名(講師含む)
- 3 概要

第1回の2時間30分は、「古墳時代」を中心に以下の4点を柱に古代史の流れを概観できる講義とともに、「前方後円墳」の時代の移り変りを示す副葬品や埴輪とその捉え方などについて、具体的でわかり易い解説をいただき、「なるほど なっとく」と実感しながらの楽しく充実した時間となりました。

講師の細川氏に感謝申し上げますとともに、次回以降もよろしく願います。

- ア 「弥生時代から古墳時代への移りかわりについて」
古墳時代の始まりとはいつか
- イ 「前方後円墳の持つ意味と副葬品等の特徴及びその変遷について」
約300年間の時間の流れの中でそれぞれの古墳が示す意味とは
- ウ 「大陸及び朝鮮半島との関係から古墳時代をとらえることについて」
漢(前漢～後漢)・漢書や後漢書における「倭国」の記述や三国時代・魏志倭人伝にみる中国大陸との関係から古墳時代とは
- エ 「前期・中期・後期・終末期と古代社会の変遷について」
村から大規模集落(支配階級)からクニ(豪族・政治的なまとまり)の成立へ、そしてヤマト政権(連合体)から律令国家(大君・天皇)の形成へと変化を遂げる時代の変遷との関連は

4 今後の日程 第2回：10月12日(土) 第3回：11月16日(土)

*9月20日現在2名の方から「小テーマ」について連絡がありました。

- ・「城陽市内における古墳の変遷・変革の様子を調べてみたい」
- ・「なぜ奈良盆地がヤマト政権・連合体の中心となり得たのかをもう少し知りたい」

5 参加者募集 第2回以降も随時参加者を募集 参加費 各回500円 第1回セミナーの具体的な内容や様子・雰囲気など何でもお問い合わせください。

みんなで楽しくワイワイガヤガヤと、古代史を学んでいきましょう。